

市政記者各位

令和2年7月31日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会
Fukuoka Growth Next

新型コロナウイルスに
便乗した詐欺など

福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus」

迷惑電話や二重電話詐欺による被害防止の実証実験開始

～台湾発！迷惑電話対策アプリ「Whoscall」を3ヶ月無償で提供～



福岡市と福岡地域戦略推進協議会は、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

今年7月には、「Beyond Coronavirus (=コロナを乗り越える)」をテーマとした7件の実証実験プロジェクトを採択いたしました。

この度、「迷惑電話・コロナ詐欺や誤情報の防止情報基盤構築/Whoscall 実証実験」として採択された、台湾のスタートアップのGogolook Co., Ltd.による実証実験が、下記及び別紙のとおり開始されますのでお知らせします。

記

1. 事業者

Gogolook Co., Ltd.

(ゴーゴールック, CEO: ジェフ・クオ)



2. 実証実験概要 (詳細別紙)

同社が提供する着信番号識別・迷惑電話対策アプリ「Whoscall (フーズコール)」を活用し、迷惑電話や新型コロナウイルスに便乗した詐欺などの二重電話詐欺による被害防止の効果測定を行う実証。

3. 実証実験のモニターについて (詳細別紙)

8/1 (土) から8/31 (月) まで、実証実験のモニター参加を希望する方に、「Whoscall」の有料プレミアム版が3ヶ月無償で提供されます。

4. 問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

◆このプレスリリースについて

担当: 山崎, 橋本 電話: 092-711-4958 (内線 1215)

◆福岡市実証実験フルサポート事業について

担当: 井上, 執行 電話: 092-711-4357 (内線 1225)

報道関係者各位

2020年7月31日
Gogolook Co., Ltd.

日本で唯一海外番号の識別ができる 台湾発迷惑電話対策アプリ「Whoscall」3ヶ月無償提供で実証開始 ～高額請求される海外詐欺番号の特徴も公開～

全世界で8,000万ダウンロードを超え、2015年から5年連続で「APP Store」のベストアプリにも選ばれている、台湾発の着信番号識別・迷惑電話対策アプリ「Whoscall(フーズコール)」を運営するGogolook(ゴゴールック、本社:台湾、CEO:ジェフ・クオ)は、同アプリプレミアム版を、8月1日から31日までにインストールした方全員を対象に3ヶ月無償提供します。

これは、福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus(=コロナを乗り越える)」に採択された当社プログラムの第一弾として実施するもので、迷惑電話や新型コロナウイルスに便乗した詐欺をはじめとしたニセ電話詐欺による被害防止の効果を検証するものです。

The graphic features a green header with the text "whoscall 迷惑電話対策アプリ". Below this, on the left, is the Whoscall logo and a large green banner that reads "3ヶ月無料 全国一斉トライアル実施中!". Underneath the banner is a green box with the text "8/1 - 8/31 申込限定". At the bottom left are the Google Play and App Store download buttons. On the right, two smartphone screens are shown: the left one displays a call log entry for "090 XXXX XXXX" identified as a "Whoscall 着信識別 迷惑電話"; the right one shows a search results page for "番号検索" with several entries, some marked with red exclamation points. At the bottom of the graphic, it says "お試し期間終了は自動継続課金となります".

【実証実験の内容について】

本実証実験では、以下の3つのステップにより、詐欺電話番号情報の収集・分析及び新型コロナウイルスに便乗した詐欺をはじめとしたニセ電話詐欺などによる被害防止の効果を検証します。

- ステップ1** Whoscall プレミアム版を3ヶ月無償で提供、インストール後は普段どおりスマートフォンを利用していただく
- ステップ2** 無償期間終了後、対面でのインタビュー調査などを実施
- ステップ3** アプリで検出した情報や、アンケート、インタビュー調査の結果をもとに効果を検証

【実証実験にご協力いただけるモニターの募集】

本実証実験にご協力いただけるモニターを、2020年8月1日から募集いたします。下記 URL からモニターの申し込みをし、アプリをインストールすることでモニターに参加することができます。

また、福岡市在住のモニターの中から、対面でのインタビュー調査等を実施いたします。

- ・モニターの募集用 URL: <https://gogolook.typeform.com/to/eVrenP0I>
- ・募集期間: 2020年8月1日～31日



※期間中にインストールが完了したユーザーのみプレミアム版が3ヶ月無料となります

(無料体験版とプレミアム版について)

通常提供している Whoscall 無料体験版は、例えば iOS 向けの場合、手動でブロックリストを作成し迷惑電話を撃退する「ブロック」機能、充実したデータベースで公開済みの電話番号を検索できる「電話番号検索」機能を利用できます。一方、今回3ヶ月無償提供するプレミアム版では、無料版機能に加え、未登録の電話番号を全世界10億件のデータベースより識別する「番号識別」機能、AI技術で不審な番号を検出し詐欺電話を予測しブロックする「迷惑電話を一括ブロック」機能も広告表示なしで利用することができます。

※通常 iOS のプレミアム版は、月額200円(年額1800円、四半期ごと550円)が課金されます

※通常 Android のプレミアム版は、月額100円(年額1000円、半年額590円)が課金されます

※機能の詳細については、各アプリケーションストアをご参照ください

iPhone版 **whoscall 機能情報**

プレミアム版	✔ 番号識別	✔ 迷惑電話を一括ブロック	✔ 電話番号検索	✔ 広告なし
無料	✔ 手動ブロック		✔ 電話番号検索	






※機能の詳細については、各アプリケーションストアをご参照ください

【増加する海外詐欺番号着信】

Whoscall は現在日本で唯一海外の電話番号のデータベースを保有する番号識別アプリです。Whoscall は、**2020年の1月以降2億件を超える悪質な電話を識別しており、有害な着信をブロックすることで世界中の詐欺防止を支援しています。**2020年5月に当社が行った調査では、**日本で着信するニセ電話詐欺の20%は海外からの発信**だということが分かりました。その着信数は

年々増えており、2018 年から 2019 年のニセ電話詐欺の着信数は前年度に対して 159%、さらに 2019 年から 2020 年は 205%にまで増加しています。

また同調査では、海外からの詐欺電話にかけ直すと高額な通話料が請求されることが確認 されています。

※参考資料: 海外番号着信の注意例

whoscall 海外からの番号にご注意を

不審な番号の 代表例	010852645XXXXXXXXXX 1840XXXXXXXXXX
よくある不審な 国番号例	HK +852 US +1
近年見られる不審な 国番号例	ナウル+674、モルドバ+373、 イングランド+44、パナマ+507、 ブラジル+55、アセンション島+247、 マーシャル諸島+692

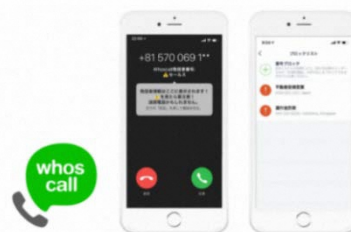


今後、コロナ禍の給付金申請に便乗して、海外からの詐欺電話はますます増加することが予想されます。当社では Whoscall の有料プレミアム版を 3 ヶ月間無料で提供することで、日本における詐欺被害の防止に貢献します。

【台湾発の着信番号識別・迷惑電話対策アプリ「Whoscall」とは】

迷惑電話として識別した着信は、Whoscall のブロックボタンを押すだけで簡単に着信拒否ができ、二度とその電話番号からの着信を受け付けないように設定することができます。

現在、全世界で 8,000 万ダウンロードを超えており、2015 年から 5 年連続で「APP Store」のベストアプリに選ばれています。台湾では二人に一人がダウンロードする実績を持ち、台湾の総統・蔡英文氏（ツァイ・インウエン）も自らの SNS で紹介したことから台湾を代表するアプリとして認知されています。また、台湾で天才 IT 大臣として知られ、コロナ禍において、マスクの在庫が一目でわかるアプリのプログラムを開発したことで有名なオードリー・タン主導の元、コロナ禍に乗じて増加する迷惑電話を 1 億件以上阻止する事に成功しました。



2013、2015、2016 年には、Google Play の「ベストアプリ」を受賞し、Google の元 CEO であるエリック・シュミット氏も自身のスピーチでフーズコールについて称賛しました。

Whoscall では、膨大なデータベース及び AI 技術を用いて詐欺の電話番号を検出できます。

SMS を利用した詐欺の場合、Whoscall がハイパーリンクスキャンテクノロジーを用いて、わずか 0.5 秒でAndroid対応端末に不審な SMS、及び悪意のあるリンクを検出します。コロナ詐欺の急増を受け、Whoscall はスタートアップ企業への支援が豊富な福岡市に日本支社の設立も準備しており、今後も日本市場でのサービス拡大と消費者の安心・安全への貢献を目指します。

【福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus(=コロナを乗り越える)」とは】

「Beyond Coronavirus」実証実験プロジェクトの募集は福岡市と福岡地域戦略推進協議会が実施している、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」の一環です。Whoscall は「迷惑電話・コロナ詐欺や誤情報の防止情報基盤構築 / Whoscall 実証実験」というテーマで応募し、実証実験にふさわしいプロジェクトとして採用されました。全国からスタートアップ企業による実証実験プロジェクトを募集し、新型コロナウイルスの感染拡大によって顕在化したさまざまな社会課題を解決するための新サービスやプロジェクトの創出を目指すもの。優秀なプロジェクトには、助成金が進呈されるほか、実証実験期間中はフクオカグローバルネクストからコワーキングスペースが無償提供されます。今回の募集では 35 件の応募のうち 7 件のプロジェクトが採択され、当社は高い評価を獲得し 海外企業として唯一参加が決定しました。

【会社概要】

会社名： Gogolook Co., Ltd.

代表者： 郭建甫 (Jeff Kuo)

所在地： 台湾台北市

設立： 2012 年 4 月

資本金： 10 億円

事業内容： 電話番号識別サービス「Whoscall(フーズコール)」の運営・開発

従業員数： 70 名

URL： <https://whoscall.com/ja/>



< 本件に関する報道関係者お問い合わせ先 >

Whoscall(フーズコール)広報事務局(共同 PR 内)担当: 樋口、小山、國時

TEL:03-3571-5326 MAIL: whoscall-pr@kyodo-pr.co.jp